



おがさわら

# 議会だより

第 153 号



## 目次

予算特別委員会	2
議案審議	3
委員会報告	4
一般質問	5
議員レポート	9
編集後記	10

活発な火山活動による隆起で姿を変えてゆく硫黄島。しかし、未だ故郷への帰還叶わぬご遺骨が多数眠っており、未だ戦争が終わっていないことを痛感させられる。

また、今回は戦前の生活の跡を多く見て回る機会をいただいた。

硫黄島に人々の暮らしがあったことは決して忘れてはならない。

平野悠介

村長から令和6年度予算案の議題提出を受け、村議会では予算特別委員会を設置し、2日間にわたり審査をいたしました。その結果、委員全員の賛成ですべての予算案が提案どおり可決し、議長宛に報告書を提出しました。



ベビーシッター利用  
支援事業 210万円



沖ノ鳥島視察事業  
4,945万円

主な事業

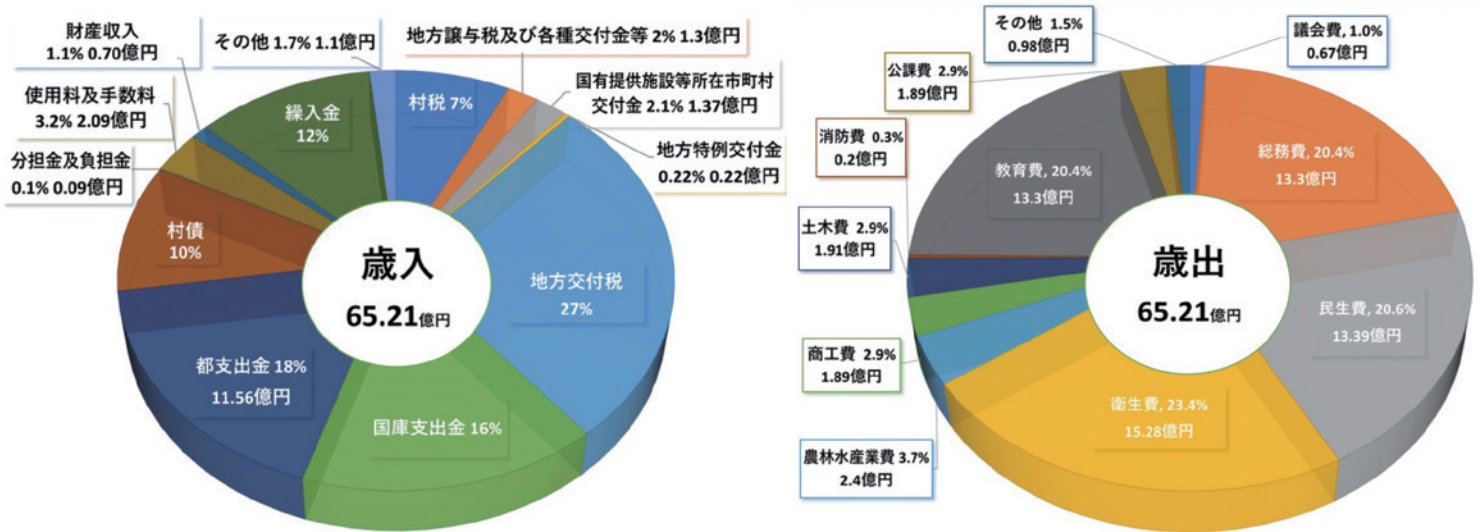


小笠原小中学校・母島児童福  
祉施設工事 160,375万円



高校生未来の夢応援事業  
300万円

一般会計予算65.21億円の内訳



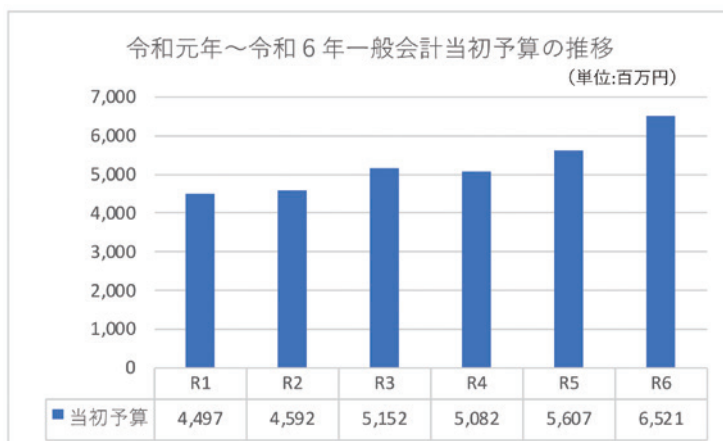
～令和6年度予算特別委員会報告～

4月から第4次小笠原村総合計画の各分野の取組方針を定めた基本計画・基本構想後期5カ年がスタートとなり、策定された計画を滞りなく実施されるようお願いいたします。令和6年度予算においては、多種多様な行政課題へ取り組むことで、村民生活の安心・安全、良好な生活環境の創出を図るため、責任ある対応を図られたい。

現在見込める財源は確実に収入することはもとより、自助努力による新たな財源確保について、あらゆる可能性を模索されたい。予算の執行にあたっては、前年度より引き続き、大規模な整備事業が行われるが、確実な整備を進めていただくと同時に、将来に過大な負担を残さないよう、慎重な財政運営に努められたい。他の事業においても進捗管理を計画的に行い、未執行事業を出すことのないよう努められたい。

人件費を含む財政援助団体への補助金については、団体の運営及び活動状況の把握に努め、必要に応じ、指導、支援を適切に行うよう努めること。

なお、本予算特別委員会の審議の中で、予算審議を可決した経緯も考慮し、各委員からの指摘があった事項については、今後の施策、財政運営に積極的に取り組み、村民生活の安定・向上のために予算を確実に執行されたい。



令和6年度 各会計当初予算額	
会計名	予算額 (千円)
一般会計	6,521,837
国民健康保険特別会計	369,527
簡易水道事業会計	289,993
宅地造成事業特別会計	65,561
介護保険 (保健事業勘定) 特別会計	101,943
介護保険 (介護サービス事業勘定) 特別会計	209,568
生活排水処理事業会計	266,029
後期高齢者医療特別会計	46,863
合計	7,871,321

**新型コロナウイルスワクチン接種助成事業**

**問** 新型コロナウイルスワクチン接種助成はどのような助成事業なのか。(稲垣)

**答** 4月から新型コロナウイルスワクチン予防接種は任意接種となる。その接種費用の一部を助成する事業。(村民課長)

**母島簡易郵便局について**

**問** 簡易郵便局事業を村はいつまで続けるのか。(稲垣)

**答** いつまでとは答えられないが、郵便局本省も検討している。目標は、日本郵便本局が早く母島に設置されることである。(村長)

**自然環境普及啓発事業について**

**問** 外来種駆除事業も普及啓発と考えるがこの事業に含まれるか。(安藤)

**答** 普及啓発事業として、位置付けている。来年度は、村民向け属島の視察会、島外来種除去ボランティアなどを予定。(環境課長)

**沖ノ島島視察事業について**

**問** 大きな予算をかけても事業実施するための真意、意義は(宮城)

**答** 小笠原村の行政区域ではあるが、見る機会のない島。村民の皆様にご覧をいただき、広大な行政区域を有している小笠原村である意義を村民の皆様にも考えていただくため。

**(企画政策室長)**

**バス事業収入について**

**問** 電車などにある広告収入は考えないのか。(片股)



**答** バス内部の中吊りやラッピング等の広告は、今後検討したいと考えている。(産業観光課長)

**観光客受入対策事業について**

**問** シェアサイクル事業はどのような事業か。(清水)

**答** 村が実施主体。母島にて7月中旬から1月中旬の半年間、電動アシスト自転車10台を試験導入。(産業観光課長)

**ベビシッター利用支援事業について**

**問** 補助内容は。周知方法は。(平野)

**答** 東京都ベビシッター利用支援事業(一時預かり利用支援)補助に準じ、午前7時~午後10時利用2500円、午後10時~午前7時利用3500円補助。利用実績に基づいての補助。小笠原村ホームページ、4月1日村民だよりにて広報。(村民課長)

**消防団活動事業について**

**問** 消防団員への中型免許取得への補助は。補助する条件は。(宮城)

**答** 消防ポンプ車の運転については、中型の免許が必要。島内で取得できない。運転できる団員確保のため、免許取得費(往復交通費、合宿免許費用)及びAT限定免許の団員は、マニュアルへの限定解除費用を一部助成。

助成条件…免許取得後5年間消防団活動。本人意志で退団の場合、返還。(総務課長)



**令和6年第1回定例会においてこんなことが決まりました！**

開会日 3月14日

- 専決処分事項報告及び承認について1件
- 小笠原村村税の一部を改正する条例ほか条例改正6件
- 小笠原村事業用給水条例の制定について
- 令和5年度一般会計補正予算他補正予算5件
- 令和6年度一般会計予算他7件
- 公共的施設の総合整備計画2件
- 財産の取得(アームロール車)について
- 東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約について
- 新たに生じた土地の確認について
- 字の区域の変更について
- 第4次小笠原村総合計画の改定について
- 小笠原村固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 小笠原村教育委員会委員の選任について ○議員の派遣について



第4次小笠原村総合計画(後期5ヵ年)が改定されました。

4月からの5年間、村が取り組む計画です！

小笠原諸島世界自然遺産

関連する主な会議のスケジュール、小笠原村愛玩動物の適正な飼養及び管理に関する条例、村民向け普及啓発事業、世界自然遺産5地域会議、平島ネズミ対策、南島における固有陸産貝類の再導入について報告、質疑がありました。

○平島ネズミ対策について

【問】ネズミの再確認、何か所でいつ頃。  
(清水、宮城)

○南島における固有陸産貝類の再導入について

【問】どの種、どのくらいの数再導入したのか。(宮城)

住宅政策

東京都小笠原住宅の整備、住宅モデル事業、父島奥村分譲地について報告、質疑がありました。

【問】建て替える母島都営住宅に父島同様シルバーピアを設置、運用は出来ないか。(宮城)

【問】母島都営住宅建て替え後、シニアカー駐車・充電場所を要望できないか。(宮城)

【問】静沢分譲地の進捗状況について。(宮城)

小笠原村地球温暖化対策実行計画  
(区域施策編) 概要

小笠原村地球温暖化対策実行計画(区域施策編)概要についての報告がありました。

【問】温室効果ガス削減、母島での再生エネルギー事業でどの程度見込めるか。(平野)

東京都教育庁小笠原出張所の設置について

令和6年4月に東京都教育庁小笠原出張所が小笠原支庁内に設置することとなった経緯、今後について報告があった。

【問】出張所の体制は、都立高校との関係は。(宮城)

硫黄島調査特別委員会 3月14日

令和5年12月の委員会以降の硫黄島に関する動き・連絡会議について報告がありました。

遺骨収集帰還事業について

第4回目：1月31日～2月14日実施 収容柱数27柱  
令和5年度帰還数 66柱

訓練について

HRS訓練、潜水訓練、LCAC(エアークッション艇)訓練、米海兵隊による訓練について

その他

・硫黄島島民平和祈念墓地公園管理事業  
(年6回実施予定)  
第5回：1月26日～31日実施

・硫黄島行政視察

2月15日～16日 実施 村長、村議会議員8名、職員2名、都議会議員1名、旧島民4名参加

・硫黄島及び北硫黄島旧島民の墓参(東京都主催)  
2月21日実施 旧島民52名参加

・日米硫黄島戦没者合同慰霊追悼顕彰式(硫黄島協会)3月30日実施

・硫黄島戦没者追悼式(東京都主催)

1月18日 都庁にて開催 遺族32名参加

・硫黄島慰霊巡拝事業(厚生労働省主催)  
第2次慰霊巡拝 3月6日 実施

・硫黄島強制疎開80周年記念シンポジウム  
2月17日開催 村長、村議会議員参加

小笠原航空路開設推進特別委員会 3月14日

令和5年12月の委員会以降の航空路開設推進に関する動きについて報告がありました。

【問】機材調査にあるティルトローター式 AW609の安全性は。(平野)

【問】村民が航空路についてどう考えているか問うことが必要ではないか。(清水)

議会運営委員会 3月4日

議会運営に関する「議会意見交換会」「議会報告会」「機器の持ち込み」「傍聴の自由化」について審議が行われました。「議会意見交換会」「議会報告会」「機器の持ち込み」については、継続審議。「傍聴の出入り自由化」は、現状のままの運営とし、現体制下では行わないことが決定いたしました。

## 【一般質問一覧】

### ● 清水良一

1. 小笠原地球温暖化対策実行計画(事務事業編及び区域施策編)について

### ● 安藤重行

1. 硫黄島問題における今後の諸問題について
2. 村道等の維持管理などに関する課題について

### ● 平野悠介

1. 村内施設の建て替えについて

### ● 稲垣勇

1. 母島のシロアリの現状と今後の対策について

### ● 宮城ジャイアン

1. 春からの低学年下校時間、学童について
2. 村の高校生への関わりについて
3. 共同墓地、合祀堂について

### ● 片股敬昌

1. 梅毒の流行について
2. オーバードーズについて



### 【一般質問とは】

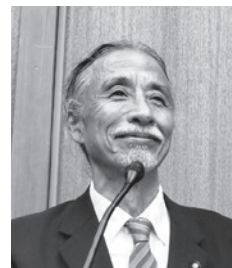
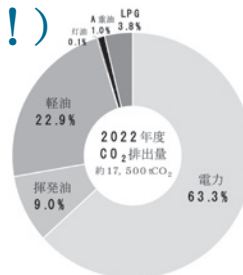
議員が村長、教育長に対し、行政全般・教育行政全般にわたる施策の状況や方針などについて、説明・報告を求めることです。

## 地球温暖化対策実行計画について

(2030年CO2削減50%へのチャレンジ！)

村長...村として新たに重要な問題として取り組む

小さい島だからできる世界を変える取り組みを！



清水 良一

- 問** この計画の来年度の重点政策と予算は？
- 答** EV車の導入と充電設備工事合わせて540万円、電動自転車を活用したシェアサイクル実証実験に180万円、村有施設のLED化に1700万円、ゼロカーボンの推進に当たり「家庭・事業所のゼロカーボン対策会議」運営業務委託465万円、ごみの減量化やリサイクル推進等の塵芥処理費として1900万円を予算に計上。
- 問** 環境家計簿等を使い前年実績対比をとらえられる仕組みを構築しては？
- 答** 普及啓発の具体的な検討の中で内容は検討したい。
- 問** 毎月の区域全体の電気使用量を捉えて村民に広報できないか？
- 答** 現実的には難しい。
- 問** 移動の脱炭素化に向けて歩きや自転車、バスの活用については？
- 答** 脱炭素の観点から歩き、自転車、バス利用を継続的に呼びかけていく。
- 問** 生ごみの堆肥化とそれを使う市民農園の検討は？
- 答** どちらも現在考えていない。
- 問** 2030年までの人的パワーと予算をどのように考えているか？
- 答** 国、東京都、村民とも連携しながら進めていく中で予算や人を検討していく。

硫黄島に人が住んでいた証のミュージアム建設を！  
安全な道路確保と建設土木の技術職員の確保を！



安藤 重行



**問** 八十年の年月の経過の中、半数が遺骨未収集の現状と島民の「硫黄島という島があったことを忘れないで」という心情に添った対応が必要では。また、ミュージアムを建設し硫黄島の存在と世界平和を知らしめるべきでは？

**答** 遺骨収集やご遺族の思いに応える慰霊事業は国の責任で実施すべき。村や旧島民間関係団体はできる限り協力をしていく。訪島の機会を充実する様に取組む。都と訪島事業、墓参事業の在り方を調整し防衛省に支援をお願いし、予算化など議会での協力が必要。歴史の風化をさせないで戦争を繰返さないことを後世に残し伝えることは重要だが、村の現状では建設の予定は考えていないが資料等の扱いは教育委員会でも対応していく。

**問** 村道の維持について安全確保の視点からマンホールの蓋と道路の段差や都道と村道等の接点道路の切下げ問題等の解消は。また、維持管理する職員が不足しているのでは？

**答** 点検や住民からのご指摘などがあつた箇所は、早急な改修や道路改修工事を計画し順次改良している。村職全体に職員確保は大きな課題。特に技術職は応募がほとんどない状況なので、都や他町村とも連携し派遣や支援体制の確立や事業外部委託なども視野に職員確保を模索している。

平和都市宣言  
を世界へ

村長...硫黄島旧島民の心情に寄り  
添う施策を  
技術職の採用難航

中学校跡地の用途予定とその検討方法は。

企画制作室長...現在のところ用途は定めていない  
村長...政策形成の過程において意見交換の場を  
設ける



平野 悠介



**問** 診療所の前の消防車庫側の駐車場に建てられた建物について、経緯を確認したい。

**答** 保健所の仮設庁舎であり、設置にあたり他に用地がないとのことで協力した。5月中旬を目途に運用開始し、令和8年の新庁舎が完成後、令和9年3月までに解体して現状復帰の予定。

**問** 駐車場が大きく損なわれているが、不便が発生していないか。

**答** 近隣に2か所駐車場を整備いただき、公用車と職員車両をそちらに駐車することで住民利用に影響が少ないよう配慮している。

**問** 小中学校の建て替えについて、用地の確保と、中学校解体後の利用用途は。

**答** 校庭の東側約4割を仮設校舎として利用し、敷地内で対応する。中学校跡地の用途については現在のところ定めていない。

**問** 中学校跡地は津波浸水の恐れがなく、平坦で広く、アクセスも良い貴重な土地。活用方法については十分な検討や議論が必要だと考える。執行部と議会で勉強会などできないか。

**答** 中学校跡地は将来を見通した政策の下に決定されるべき重要な場所。政策形成の過程においては、意見交換の場を設けさせていたたく。

50年先を見据  
えた計画を

## 母島のシロアリの現状と今後の対策について。



環境課長...北部の群飛調査を強化。

環境への安全担保しながら取り組む。



稲垣 勇

**問** 母島のイエシロアリの現状と。今年度のシロアリ対策結果について。

**答** 北港から西浦橋までの羽アリの捕獲用ライトトラップを28箇所、9日間夜間の群飛調査実施。昨年比、約1.5倍増。効率的な営巣発見と駆除手法対策の強化に務める。集落付近調査では蝙蝠谷仮置き場、元地、静沢の集落内、評議平のリレーセンターや評議平残土置き場、中の平草置き場等43箇所でライトトラップ設置し、39日間調査、1頭も捕獲が無かった。

**問** 北部の群飛数が増加している。今後大規模な群飛が続くと集落で生息域が拡大すると懸念するがその対策を伺う。

**答** 現場従事者、内地の専門業者と協議し、群飛調査強化等の効率的な対策強化を図っていく。

**問** シロアリ対策では薬剤を使用しているが、薬剤による自然環境に与える影響調査の3年間の報告を伺う。

**答** 調査結果から現状の液体散布を中止し、今後、母島の山域の薬剤使用は粉剤とベイト剤を基本とし環境への安全も担保しながら、決して対策を弱めることなく取り組む。

## 母島の学童、ファミサポの導入を提案

村民課長...ファミサポ、学童は社協からの相談を受けて進めていく。



宮城 ジャイアン

### 【質問】

- ①春からの授業時短、学童について
- ②村の高校生との関わりについて
- ③共同墓地、合祀堂について



**問** この春から授業時短で低学年のお昼帰りが年間通して発生する。父島学童では問題ないか？母島は学童がない。厚労省のファミサポサポート事業が有効と考えるが？

**答** 父島の学童では特段支障はない。ファミサポは助けたい人と受けたい人の会員同士の相互援助活動。社協からの相談を受け、村としては研究していく。

**問** 高校生は村の宝と思うが？村はどう考え、関わっていくのか？

**答** 村、日本を背負う大事な宝である。村として様々な支援がある。重視していく。

**問** 4月から支庁に都教育庁の出先機関ができるが？

**答** 村が代理していた事務が移行される。より村の教育に専念できる。メリットを子供たちや村民に広く還元していく。

**問** 父島に村営墓地があり、母島にはない。現在の沖村墓地は道が険しい。内地では墓じまいが進んでいる。大根山、母島のフルーソロードに共同墓、合祀堂などの整備はできないか？

**答** 現時点での計画はないが、お墓のありかたについて考えを整理し、検討していく。



## 梅毒の全国的増加が見られる。注意喚起を！

医療課長…東京都島しょ保健所による「保健所だより」  
「感染症週報」で注意喚起されている。



片股 敬昌

**問** 梅毒の全国的増加が見られ、都内の報告者数は過去最高になった。現在、緊急事態だと考えるが見解は。

**答** 村内での感染症情報発信は保健所において流行状況や検査体制等を「保健所だより」「感染症週報」で周知している。

**問** 検査は診療所、保健所で受けられるのか。費用についてはどうか。エムボックスやHIVの検査も受けられるのか。

**答** 保健所においてHIV検査に併せて、梅毒、クラミジア、淋菌の検査を匿名の電話で受付、費用は無料で行っているが診療所では保険診療になる。エムボックス検査については相談いただきたい。性感染症治療は内服薬で行う。

**問** 若者を中心に市販薬のオーバードーズ（過剰摂取）が広がっている。SNS上では体験記や大量の市販薬の画像も沢山投稿されている。過剰摂取（オーバードーズ）に使われる薬はどのようなものがあるのか。

**答** 報道で言われる市販薬には風邪薬や咳止め等がある。

**問** 子供たちがオーバードーズに向かう背景についてはどのように考えるか。また、対策は。

**答** 心身ともに健康に成長できる生活環境を整えることが重要。またスクールカウンセラーによる相談対応等を行っている。

## 議長出張報告



東京都町村議会議長会



硫黄島強制疎開 80 周年  
シンポジウム



東京小笠原南国フルーツ  
チキンカレープレスリリース

出張日	出張用務
12/26	令和5年度第2回全国離島振興市町村議会総会
1/1	二十歳を祝う会
1/5	武道始め式
1/14	消防団出初式
2/13	東京電力パワーグリッド(株)母島再生エネルギーミニモデル施設視察参加
2/14	令和5年度第2回東京都町村議会議長会定期総会
2/15~16	硫黄島行政視察参加
2/17	明治学院大学国際平和研究所、全国硫黄島島民3世の会主催「硫黄島強制疎開80周年記念シンポジウム」参加
2/19	令和6年東京都島しょ町村議会議長会定期総会 令和6年東京都島しょ町村会・島しょ町村議会議長会第1回合同会議 東京都島しょ町村一部事務組合議会定例会
2/22	ハチ食品株式会社「東京小笠原南国フルーツチキンカレー」発表会に出席
3/19	小笠原中学校卒業式



## 2月の硫黄島行政視察について

### ～硫黄島旧島民の気持ちを改めて再認識～

安藤 重行

硫黄島旧島民の1世(90歳)、2世、3世の4人の方々と初めての視察でした。天山慰霊碑等の墓参、遺骨収集現場の視察、島民の方々が住んでいた居住跡等を視察し、意見交換し硫黄島が抱える課題や今後の方向性などを考えていく機会になりました。自衛隊員の方々が献身的にボランティア活動等で、旧住居跡や学校跡等を新たに切り開いていただいたことで、旧島民の方々が大変喜んでいました。自衛隊員の方々にありがたいと感謝と御礼を申し上げました。村の平和祈念館に全員で泊まり、昔の暮らしぶり、戦争で軍属として10代の兄二人が島に残され戦死したご家族の話、色々な思いをお聞きしました。遺骨収集(千鳥部落跡等)で27柱が収容されました。17日に硫黄島強制疎開80周年シンポジウムがあり、議員も全員参加し、そこで1世の奥山さんは「今でも帰れるなら帰りたい。硫黄島という島があったことを忘れないで！」と訴えました。唯一帰島が許されなかった島。戦争資料をしっかりとデータ化し、子供達への平和教育の中でしっかりと語り継ぐこと。ミュージアム建設などしっかりと考えていかなければと考えさせられた視察でした。



墓参



播鉢山からの視察

## 2/13 村長＋全議員で視察。内地視察レポート

### ～母島ソーラーパネル＆無電柱化ミニモデル～

宮城 ジャイアン

今回の視察は東京電力パワーグリッド株式会社総合研究センターへ行って、現在母島で工事が始まっているソーラーパネルのミニモデル、電柱の地中化の展示を見学してきました。

これは東京都と小笠原村と東電で取り組むプロジェクトです。実際に使うシステムと蓄電池を使い、気象状況などで不安定なソーラーを蓄電池で補い、不足部分を既存のディーゼル発電でフォローする仕組み等を見せてもらいました。

現在も電気使用のモニタリングをしていて、使用に合わせて発電量を日々調整しているのですが、



全議員で視察

ソーラーは発電が不安定なので、その調整が複雑で管理がポイントのようでした。雲で発電の流量が変わると、一気にダウンしてしまうところ、瞬時に蓄電池に切り替えて、安定させるという仕組みでした。事故時の想定もして、様々なシミュレーションをしており、感謝の気持ちが溢れました。

無電柱化も大掛かりなものから、コンパクトなもの、共同溝、路肩部分に埋設する側溝程度のものなどを現物で見せていただきました。電線が地中になることで、台風時の倒木による停電はなくなるメリットがある一方、やはり保守点検、メンテ、工事の難しさなど問題も否めないそうです。

貴重な時間と労力を割いて丁寧に説明をしていただき、本当に有難いことだと思いました。私たちの暮らしは多くの人に支えられていることを実感しました。

## 令和6年第2回定例会会議日程表（予定）

月日	開始時間	会議名	内容
6月13日（木）	午前10時	本会議	一般質問等
6月14日（金）	午前9時	総務委員会	
	午前11時	硫黄島調査特別委員会	
	午後2時	小笠原航空路開設推進特別委員会	
	午後3時	本会議	議案審議

現時点での会議予定です。会議日程については変更がある場合がありますのでご容赦ください。

### ● 映像の配信について

TV 11チャンネルで中継放送、Youtube でライブ配信を行います。  
過去の議会録画中継は、アーカイブ配信しています。

【小笠原村公式チャンネル】

URL：<https://www.youtube.com/@boninlive5930/streams>



会議での発言内容など詳しく知りたい時は、会議録をご覧ください。

次の施設で閲覧できます。

- 村役場議会事務局
- 地域福祉センター図書室
- 村役場母島支所
- 母島村民図書室

また、パソコンやスマートフォンなどで見ることもできます。

小笠原村公式サイト → 議会事務局 → 会議録で



## 編集後記

硫黄島は、強制疎開から80年が経つ。旧島民の方々も1世の方々がお年を召され、2世3世の方たちが跡を継ぎ活動を継続している。島に帰してもらえず、先祖や軍属で残り戦死された方々も多くいる。船での墓参も断念せざるを得なくなり、飛行機での墓参を検討。多くの方々を訪島できるように村も頑張っている。80年を経て半数の遺骨が未収集。苛立ちを隠せない。元総理が自ら「一日でも早くご家族のもとへ帰す」と言われた事業。国の責務の大きさを痛感する。

予算特別委員会も終わり、一部人件費を含む財政支援団体への補助金については、指導が必要になる事態も見受けられる。長年の支援の弊害なのか、しっかりと指導を行い、支援の在り方を適正化していかなければならない。支援団体がしっかりと組織として規約や規程どおりの運営を実施すべきと審査報告が行われた。議会も若い方が入り、議論も活発化しているが、色々と指摘も受けている。議員の仕事を最優先することが必須となる。一般の会社員とは異なる。税金から報酬を頂いている。1年を振り返りさらに襟を正していただきたいと思う。

安藤重行

● 議会だより編集委員 安藤重行 清水良一 平野悠介 宮城ジャイアン

問い合わせ先 小笠原村議会事務局 電話 2-3118 FAX 2-3208 メール [gikai@vill.ogasawara.tokyo.jp](mailto:gikai@vill.ogasawara.tokyo.jp)